

患者の皆様へ

2019年4月10日
小児科

現在、小児科では、「成長ホルモン投与中の小児における甲状腺ホルモン値の変化」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では2009年4月1日から2018年3月31日までの期間に、15歳未満で成長ホルモン治療を導入された、成長ホルモン分泌不全性低身長症/SGA性低身長症/ターナー症候群/プラター・ウィリー症候群/ヌーナン症候群/軟骨異栄養症/慢性腎不全性低身長の患者様の診療情報などを利用して頂きます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名

「成長ホルモン投与中の小児における甲状腺ホルモン値の変化に関する検討」

2. 研究の意義・目的

甲状腺ホルモンの分泌調節機構に成長ホルモンがどのように関係しているかを解明します

2. 研究の方法

年齢、性別、診断名、治療導入前後のIGF-1、TSH、fT3、fT4値（追加の採血は行いません）をの情報を匿名化され、個人が特定できない形で集積し、解析を行います。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院小児病態学教室、帝京大学ちば総合医療センター小児科の鍵のかかる棚で保管します。

5. 外部への試料・情報の提供

集積された情報は、匿名化を行ったうえで、紙面ないしCD-ROMに電子データとして保存し、郵送にて帝京大学ちば総合医療センター小児科へ転送します。

6. 研究組織

千葉大学医学部附属病院・高谷 具純、今田 寛
帝京大学ちば総合医療センター・南谷 幹史
松戸市立総合医療センター・成瀬 裕紀（情報の提供のみ）
成田赤十字病院・眞山 和徳（情報の提供のみ）

7. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除をいたしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学大学院医学研究院小児病態学
本件のお問合せ先 : 千葉大学医学部附属病院小児科
医師 今田 寛
043（222）7171 内線 73114

研究代表機関 : 帝京大学ちば総合医療センター小児科
研究代表者 : 南谷 幹史